

VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会 令和5年度 第一回幹事会

日時：令和5年12月6日（水）10:00～12:00 会場：ZOOM によるオンライン開催

参加者（敬称略）：

虻川匡司（会長）、奥田太一、木村昭夫、木下豊彦、組頭広志、堀場弘司、松井文彦、宮脇淳、和達大樹、原田慈久（オブザーバー）、松田巖（オブザーバー）、木村隆志（オブザーバー）

議事：

1. 令和4年度会計報告 奥田会計委員長
2. ニュースレターについて 宮脇編集委員長
3. 会長・幹事任期満了に伴う改選について
 - 1) 会長候補の推薦
 - 2) 選挙管理委員の選出（例年3名）
4. VSX あり方 WG の企画セッションについて 堀場委員
5. その他

議事録：

1. 奥田太一会計委員長から令和4年度分会計報告がなされ、内容が承認された。
今後の予算用途として、NanoTerasu の稼働に合わせた研究会開催に対する補助などが提案された。
2. 今年度のニュースレターの準備状況に関して、宮脇淳編集委員長から報告がなされた。
来年度の巻頭言に関しては、総会や WG での議論を踏まえた上で VUV・SX 懇談会の今後のあり方を説明するとの方針が話された。
来年度のニュースレター記事に関して、NanoTerasu に関係した記事を量研・PhoSiC それぞれに依頼する提案がなされた。
現在のニュースレターの発行ペース（春執筆、晩秋出版）は時期を逸することが多く、今後は年一回纏めとしての紙ベース(pdf ファイル)の発刊は行いながら、オンラインベースで随時記事のアップロードも行う必要があるとの意見が述べられた。
3. 会長・幹事任期満了に伴う改選について
 - 1) 会長候補の推薦
ユーザーコミュニティとしての VUV・SX 懇談会の今後のあり方を踏まえ、次期会長として適任な候補者が議論された。
 - 2) 選挙管理委員の選出（例年3名）
選挙管理委員として、原田慈久・松田巖・木村隆志の3氏を選出した。
4. VSX 懇談会あり方 WG の活動について、2022年12月23日の WG での議論を踏まえて堀場弘

司委員から説明がなされた。

施設や光源の種類（放射光・XFEL・レーザー）にとらわれず VUV・SX の波長帯を利用したサイエンスを議論する場として再定義し、発展させていくという方向性で委員の意見は一致しており、この趣旨を踏まえ、次回総会では会則第 2 条の変更を討論、決議する方針が確認された。

会則第 2 条（目的）

本会は、東京大学が建設する VUV/SX 高輝度光源施設の建設協力ならびにその利用研究計画に関わる情報交換の円滑化を図るとともに、会員相互の交流の促進を図り、放射光科学の発展に寄与することを目的とする。

（変更素案）

本会は、全国的な組織として VUV/SX 高輝度光源の開発ならびにその利用研究計画に関わる情報交換の円滑化を図るとともに、会員相互の交流の促進を図り、放射光科学の発展に寄与することを目的とする。

5. その他

オブザーバーの原田慈久氏より、来年 3 月に ISSP ワークショップを開催する旨報告がなされた。

サイエンスベースで VUV・SX を議論する今後の懇談会のあり方に関して、日本・海外の各施設の視点を踏まえた特別セッションを設けることで一致し、VSX 懇談会あり方 WG 取りまとめの堀場委員を中心に具体的な内容を詰めることとなった。